

# 口ごもりやリズム 解析システム

## 日常会話で認知症判定

会話の声の調子から認知症かどうか判定するシステムを、名古屋工業大の加藤昇平准教授らの研究グループが開発した。認知症は早期発見が治療の鍵となるが、「まさか自分が」といった心理的な抵抗感などから受診に二の足を踏む人が多い。医療現場では「実用化すれば医師、患者とも心の負担が軽くなる」と期待している。

### 名工大グループ開発

認知症は、もの忘れ 段階で治療を始めれば、激しくなったり、時 ば、進行を抑えられる間や場所を認識する力 可能性がある。が損なわれたりする脳 研究グループは、会 話の疾患。症状によって 話のできるロボットの 治療法は異なる。早い 開発で培った手法を応 話し始めた時の口



用。人間が発する音声 口ごもりやリズムの乱れ の高低や抑揚など百三 などで認知症の症状か どのかを判定するプロ グラムを作った。 東京都内の認知症専 答や血液検査の結果を

門の医療機関や介護施設と連携して、二〇〇八年から高齢者四百六十人を対象にテストを実施。「今日の日付と曜日は何」という質問に対する答え方を分析したところ、85%の確率で認知症かどうかを判別できた。

医師が認知症の診断をする場合、「百から順番に七を引いてください」「知っている野菜の名前をできるだけ多く言ってください」などの質問に対する応答や血液検査の結果を

## 受診せずに早期発見

加藤准教授は「受診しなくても、テストと意識せずに日常会話から判定できることが特徴。患者と医師の双方の負担を軽減できる。データを重ねて信頼度を高め、実用化につなげたい」と話す。

全国で認知症の疑いのある人は四百四十万人とされる。認知症介護研究・研修東京センター長の本間昭医師は「短時間で簡単に選別できれば、早期診断と治療につながる。治療を受けなくても、気が付いたら重症化しているという例を少なくできる」と実用化の意義を説明した。



汚染 14分

### 1 汚染水

# タンク底から漏出か

が、見つからなかった。タンクは下部くほど水圧がかかった。タンクから各方向に漏れやすく、汚染水は出ていくことから



発行所 中日新聞社  
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号  
〒460-8511 電話 052(201)8811

**東陽倉庫**  
書類保管センター  
文書・情報の保管

**東陽倉庫**  
TOYO LOGISTICS  
☎(052)581-0215  
<http://www.toyo-logistics.co.jp/>

スマホで便利  
中日新聞プラス  
[chuplus.jp](http://chuplus.jp)

中日新聞プラス

検索

登録のお問い合わせは  
0120-664411

CHUNICHI Web  
[www.chunichi.co.jp](http://www.chunichi.co.jp)

中日新聞購読申し込みは  
0120-454010

## 787 期間限定 「故郷」に就航

への手置く品め線する定た十が7し市際空全 11